

審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

課所名

商工課

会 議 名 令和6年度 第3回諏訪市工業振興審議会

開催日時 令和6年9月13日(金) 午後1時30分 ～ 3時00分

開催場所 諏訪市役所5階 特別応接室

出席者 (委員)
小坂 和夫氏 中村 仁紀氏 岩波 雅富氏 久保 吉人氏 八幡 大輔氏
小川 憲彦氏 渡邊 高志氏 平林 真理子氏
(市側)
金子諏訪市長 中島経済部長 徳永商工課長 高橋係長 高見主任

資 料 ○答申書

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議 事
令和7年度工業振興事業について
4. 令和7年度工業振興事業について答申
5. 市長あいさつ

「生産年齢人口が減っており、一方で高齢者はまだまだ増えていくという状況の中、女性が能力を発揮しながら出産・育児をしていくには、今までの日本社会が持っていた家庭の仕組みがあると成果を上げられない。職場の働き方の改革だけでなく、家での役割分担の見直し等も行っていかなないともう一人子どもを産もうと思ってもらえない。主体的に子どもを産みたいと思えるような環境を整えていき、選ばれる企業、そして選ばれる社会を目指さないとどんどん少子化が加速してしまう。工業振興審議会からの答申内容をしっかりと受け止め、市として次年度予算に反映していきたい。諏訪地域は自動車産業に関わる企業が多い。電気自動車の登場や自動車の生産方式の変革により段々部品点数が少なくなってくるという脅威が迫ってきている。そうすると新事業への転換等、一歩先の未来へ向けてリードしていく企業を我々としてもしっかり支えていきたいと考えてる。」

【質疑・応答】(Q:質疑 A:回答 C:コメント)

C1(委員). インターンシップ促進支援補助金の対象人数拡充は良いことだが、更なる補助内容の拡充を引き続き検討して欲しい。

C2(委員). 企業の国際販路展開支援の拡充を今後検討して欲しい。

C3(委員). RESASを上手く活用し数字をエビデンスとして施策を打ち出して欲しい。

6. 閉 会